

記者発表資料
2017年4月12日
生涯学習部図書館
町田市民文学館館長 吉川
電話 042-739-3420

『本の雑誌』厄よけ展—オモシロ本を求めて42年—を開催します

町田市民文学館ことばらんどは、町田ゆかりの作家である目黒考二氏、沢野ひとし氏と縁の深い書評雑誌「本の雑誌」を紹介する展覧会を開催します。

「本の雑誌」は、当時は無名だった二人の青年、椎名誠氏と目黒考二氏の、活字への熱い思いから1976年4月に創刊されました。活字離れがささやかれ始めた世相を背景に、それまで取り上げられることのなかったエンターテインメント作品の書評誌として独自の路線を邁進します。本の形態についてのレポート、読者参加コーナー、匿名座談会、ユニークな特集などの独創的な切り口と、椎名氏や目黒氏、第2号から表紙絵を担当の沢野氏をはじめとする個性豊かな執筆陣が魅力となり、本好きの共感を得て人気を博しました。

2004年からは、前年の座談会が契機となって創設された、書店員が売りたい本を選ぶ「本屋大賞」の事務局としてバックアップを続けています。2015年、「日本の出版文化における独自の存在感」が評価され、第63回菊池寛賞を受賞しました。

本展では、エンターテインメント系書評誌の先駆けである「本の雑誌」の全貌と、多彩な執筆陣、紹介されたオモシロ本の数々を展覧し、一つの雑誌からみた40年の文学の動向を探ることで、“本を読む”ことの意味を考えるきっかけを提示し、“読書の愉しみ”を見直す機会を提供します。

なお、本の雑誌社の全面的な協力と、町田を拠点に活動する読書サークル「ピッピのくつした」との協働により展示及びイベントを実施します。

■ 会 期：4月22日(土)～6月25日(日)

※休館日：毎週月曜日、5月11日(木)、6月8日(木)

■ 観覧時間：午前10時～午後5時

■ 観覧料：無料

■ 展示構成

I 「本の雑誌」クロニクル

II 「本の雑誌」前史

III 「本の雑誌」人間曼荼羅

IV 活字中毒へのイザナイ ～吉野朔実劇場

V 活字中毒応援団 ～本屋大賞紹介

VI オススメ本でたどる42年

VII 本棚がみたい！



■ 関連イベント

【講演会・対談・座談会】

- ① 椎名誠×目黒考二 対談 「ぼくらはこうやって雑誌を作ってきた」
日時：5月13日(土) 午後2時～3時30分
- ② 北上次郎講演会 「プロの本好きが語る読書のススメ」
日時：5月20日(土) 午後2時～3時30分
- ③ 坪内祐三講演会 「『本の雑誌』という雑誌」
日時：6月3日(土) 午後2時～3時30分
- ④ 「本の雑誌」編集者による座談会 「『本の雑誌』ができるまで ～編集ウラ話」
日時：6月17日(土) 午後2時～3時30分
- ⑤ 沢野ひとし×木村晋介 対談 「ぼくらは一緒に大人になった」
日時：6月24日(土) 午後2時～3時30分

【公開編集会議】

「本の雑誌」編集者による公開編集会議

日時：5月14日(日) 午後3時～4時

【読書会】

「流動的読書会」コーディネーター：武田祐子(ピッピのくつした代表、詩人)

日時：4月28日(金)、5月26日(金)、6月16日(金)

いずれも午後6時～7時30分

【展示解説】

日時：5月9日(火)、28日(日)、6月13日(火)、25日(日)

いずれも午後2時～2時30分